

English Wind

小学校全教職員及び

中学校英語科担当教員配布

英語教育の



1 困難を乗り越えて…新たな英語教育へ踏み出しましょう！

令和2年度がスタートして2か月余り。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業や教育活動再開に向けた対応等、大変な状況の中だと思いますが、日々の授業づくりのお役に立てるよう、今年度も「English Wind」を発行いたします。

2 20名の英語専科教員「ふくしま外国語教育推進リーダー」が始動！

ふくしま外国語教育推進リーダー（以下、「推進リーダー」）は、英語専科教員として各域内における小学校外国語教育の核となり、優れた指導法等を県内に広く普及させるなど外国語教育を推進する役割を担っています。推進リーダーの制度が導入されて3年目の今年度は、新規の7名を含め過去最多となる20名の推進リーダーが授業実践を行っていきます。「English Wind」でも推進リーダーの優れた取組を紹介する予定です。

| 氏名 | 市町村 | 本務校 | 派遣校 |
|--------|---------|--------|--------------------|
| 阿部 淳子 | 国見町、桑折町 | 国見小 | 醸芳小 睦合小 半田醸芳小 伊達崎小 |
| 佐藤 圭美 | 大玉村 | 大山小 | 玉井小 |
| 松村 邦明 | 郡山市 | 行健第二小 | 明健小 |
| 佐藤 亜里沙 | 須賀川市 | 須賀川第三小 | 須賀川第一小 |
| 慶徳 ひろ子 | 石川町 | 石川小 | 沢田小 野木沢小 |
| 荒井 智 | 白河市 | みさか小 | 白河第一小 白河第二小 |
| 楠 絵美里 | 矢吹町 | 矢吹小 | 善郷小 |
| 戸井田 瞳 | 棚倉町 | 棚倉小 | 社川小 高野小 近津小 |
| 猪野 真理 | 会津若松市 | 城西小 | 小金井小 |
| 小瀧 慶子 | 喜多方市 | 喜多方第二小 | 豊川小 慶徳小 |
| 松本 優佳 | 会津坂下町 | 坂下南小 | 坂下東小 |
| 阪倉 順子 | 会津美里町 | 高田小 | 宮川小 本郷小 |
| 室井 康志 | 南会津町 | 田島小 | 田島第二小 桧沢小 荒海小 |
| 大内 綾子 | 南会津町 | 舘岩中 | 舘岩小 伊南小 南郷小 |
| 荒井 隆聡 | 下郷町 | 旭田小 | 江川小 檜原小 |
| 竹内 美香 | 新地町 | 新地小 | 福田小 駒ヶ嶺小 |
| 佐藤 真理子 | 相馬市 | 桜丘小 | 大野小 |
| 加藤 みゆき | 南相馬市 | 鹿島小 | 八沢小 上真野小 |
| 平松 勇人 | いわき市 | 郷ヶ丘小 | 中央台北小 |
| 一ノ瀬 由美 | いわき市 | 小名浜東小 | 小名浜第一小 |

(敬称略)

6月5日に、文部科学省から「学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について（通知）」（以下、「通知」）が出されました。小学校第6学年（義務教育学校第6学年を含む。以下同じ。）及び中学校第3学年（義務教育学校第9学年を含む。以下同じ。）の教科書の取扱いに当たり、授業における学習活動を重点化する際の参考となる資料が教科書発行者により作成され、文部科学省ホームページ内の「子供の学び応援サイト」における「学校の先生へ」のページにおいて掲載されています。（https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00512.html）学習活動の重点化を行う際には、下記の留意事項も踏まえた上で当該資料を参考にしてください。

1 学習活動の重点化に係る基本的な留意事項

- 学習活動の重点化は、登校日の設定や分散登校の実施、時間割編成の工夫、長期休業期間の短縮、土曜日の活用、学校行事の重点化や準備期間の縮減等を行い学校における指導を充実したとしても、なお年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難である場合の特例的な対応である。
- 学習活動の重点化は、限られた授業時数の中で学習指導要領に定める内容を効果的に指導するため、学校の授業において、
 - ・ 教師と児童生徒の関わり合いの中で学習への動機付けを行い学習に見通しを持たせる活動
 - ・ 児童生徒同士が協働して自己の考えを広げ深める活動
 等を重点的に取り扱う趣旨である。

2 学習活動の重点化に係る考え方

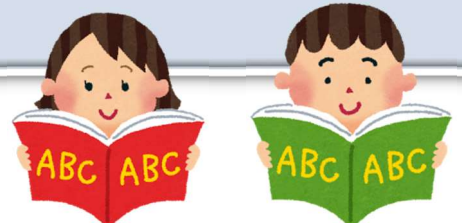
通知にある「各教科等に共通の考え方」を踏まえた上で、以下を参考にすることが重要です。

【小学校第6学年外国語】 ※ 小学校第6学年以外の学年についても示される予定。

- 音声を聞いたり、話したりすることを繰り返して、十分に慣れ親しんだ語や表現について段階的に読むこと・書くことを学習していくという、外国語科の学習の特質を踏まえ、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り] [発表]」、「書くこと」の各領域の言語活動については学校の授業で取り扱うことが基本となる。
- QRコード等で動画や音声の視聴ができない児童への配慮を行った上で、教科書記載のQRコード等を活用して、学校の授業以外の場で、動画や音声を視聴して、概要をとらえたり、わかったことを書いたりして、次の授業の活動につなげることが考えられる。
- 学習した表現等を繰り返し使うという外国語の学習の特徴を踏まえ、ある単元で学習する予定となっている学習内容の一部を、別の単元の授業の中で指導するといった工夫が考えられる。

【中学校第3学年外国語】 ※ 中学校第3学年以外の学年についても示される予定。

- 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り] [発表]」、「書くこと」の各領域の言語活動を通して、文法の規則性などに気付いたり、理解し使えるようにしていったりすることは、学校の授業でないと難しいと考えられるため、言語材料の理解や活用に係る内容は学校の授業で取り扱うことが必要である。
- 例えば旅行や買い物等の言語の使用場面特有の表現については、中学校第1学年及び第2学年でも一定程度扱っていると考えられるため、その状況を踏まえたうえで、学校の授業以外の場で取り扱うことが考えられる。★当課追記：特に中学校第1学年では、「小学校での学びやつながり」も生かしていきたいものです。
- 「読むこと」に特化した学習活動については、他の単元及び中学校第1学年及び第2学年で一定程度行っていると考えられること、また訳文等を用意することで個人でも実施することが可能であると考えられることから、これまでの学習状況を踏まえたうえで、学校の授業以外の場で取り扱うことが考えられる。「話すこと」や「書くこと」に特化した学習活動についても同様である。



次回 予告

- ◆ 「教科化されて、3観点になって、評価が不安…」という先生のために、連載企画を開始します。題して「**指導と評価の一体化への道**」。御期待ください。